

**製品名: LIR-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13332**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	72kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LILRB1
別名	LILRB1; ILT2; LIR1; MIR7; Leukocyte immunoglobulin-like receptor subfamily B member 1; LIR-1; Leukocyte immunoglobulin-like receptor 1; CD85 antigen-like family member J; Immunoglobulin-like transcript 2; ILT-2; Monocyte/macrophage immunoglobulin-like receptor 7; MIR-7; CD85j
遺伝子 ID	10859.0
SwissProt ID	Q8NHL6
免疫原	抗血清はヒト LILRB1 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

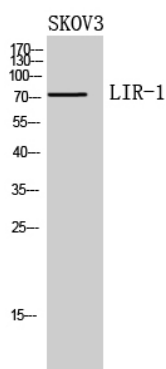
## 背景

この遺伝子は、白血球免疫グロブリン様受容体 (LIR) ファミリーのメンバーであり、染色体領域 19q13.4 の遺伝子クラスターに存在します。コードされるタンパク質は、2つまたは4つの細胞外免疫グロブリンドメイン、1つの膜貫通ドメイン、および2つまたは4つの細胞質免疫受容体チロシン阻害モチーフ (ITIM) を含む LIR 受容体のサブファミリー B クラスに属します。この受容体は免疫細胞上に発現し、抗原提示細胞上の MHC クラス I 分子に結合して、免疫応答の刺激を抑制する負のシグナルを伝達します。炎症反応と細胞傷害性を制御し、免疫応答を集中させ、自己反応性を抑制すると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみつかっています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],ドメイン:免疫受容体チロシン阻害因子モチーフ (ITIM) と呼ばれる細胞質モチーフを 4 つ含みます。このモチーフは細胞応答の調節に関与しています。リン酸化 ITIM モチーフは、いくつかの SH2 含有ホスファターゼの SH2 ドメインに結合できます。、機能:クラス I MHC 抗原の受容体です。HLA-A、HLA-B、HLA-C、および HLA-G アレルの広範囲を認識します。ヒトサイトメガロウイルスクラス I MHC ホモログである H301/UL18 の受容体です。リガンド結合により抑制シグナルが伝達され、免疫応答が抑制されます。ナチュラルキラー細胞または T 細胞に存在する LILRB1 がクラス I MHC 分子と結合することで、標的細胞が溶解から保護されます。HLA-B または HLA-E との相互作用により、FCER1A によって引き起こされるシグナルが阻害され、セロトニンの放出が阻害されます。FCGR1A を介した細胞タンパク質のリン酸化と細胞内カルシウムイオンの動員が阻害されます。、PTM: チロシン残基がリン酸化されます。PTPN6 によって脱リン酸化されます。、類似性: 4 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、サブユニット: リン酸化されると PTPN6 に結合します。FCER1A および FCGR1A に結合します。、組織特異性: 主に B 細胞と単球に発現し、樹状細胞にも低レベルで発現します。T 細胞とナチュラルキラー (NK) 細胞にも少量検出されます。、

## 研究分野

免疫学

## 画像データ



LIR-1 ポリクローナル抗体を用いた SKOV3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。